

選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



山崎 充央

(東京/79期)

立川記念はどの大会よりも大事。去年は準決勝までいけたし、今年は決勝に。それだけ強い気持ちでいます。あと何年いい状態で走れるかわからないし、しっかり勝負したい。別府記念でポイントを試してダメだったので、違うアプローチを考えたい。

河村 雅章

(東京/92期)

立川記念に向けて必死で仕上げています。もちろん手応えを感じています。11月平塚ではその成果が出たのになって思っている。京王閣記念も、前回の立川記念も決勝に乗れたし地元記念は相性がいい。今回もヒットを飛ばせるように頑張りたい。



渡辺 十夢 (福井/85期)

共同通信社杯の一次予選で1着、競輪祭は③⑤③⑤④着とまとめていてビッグレースでも好走している。今期は久しぶりにS1班に復帰。20年は不惑を迎えるが鋭い差し脚は相変わらずで、上位進出が期待できる。



河合 佑弥 (東京/113期)

12月別府記念を負傷欠場していて、復帰戦の同月大垣は5⑨欠着と本来の動きではなかった。だが、この開催の前に当所で行われるヤンググランプリを走るの、上積みは期待できるし、バンクの感触もつかめるはず。



津村 洸次郎 (福岡/101期)

仕掛けがツボにはまった時のカマシ、まくりにはなかなかの破壊力がある。10月熊本記念 in 久留米は2着、11月別府記念では3着で一次予選をクリア。同格相手のレースは人気の有無にかかわらず目が離せない。

S級ブロックセブン

ブロックセブンとは

「推理しやすい、わかりやすい、的中しやすい」をコンセプトにした、競輪独特の「地区」の色合いをより濃く打ち出したS級7車立ての新たな単発レース。

新鋭・坂井洋が伊藤に挑む。115期ナンバーワンは期待に違わぬ出世ぶり、11月平塚ですでにS級優勝を果たしている。齋藤登志信、松坂英司と援軍も頼もしく、若手らしく堂々の先行勝負で押し切りを目指す。

自在に攻める坂本修一も間隙突いての一発を秘める。

11月松阪を完全優勝するなどまくりが冴える伊藤信が底力を見せよう。シトレーニングを変えたこと、がきっかけとなり、存在感は増す一方。今年の近畿地区スプリントを制しているように、7車立てレースのここも狙いました。一撃を決める。中近連係で渡邊健が伊藤に続く。前期はA級落ちの渡邊だが、事故点の影響で、A級での走りを見ても評価は下らない。

1/7 (最終日) 6R

伊藤信が
新鋭に洗礼



伊藤 信